

ライフスタイル問診項目の検討経過報告

石井佐登美、高橋正宏、宗像ゆかり（財団法人郡山市健康振興財団）  
大櫛陽一、木村友昭（東海大学医学部・医用工学情報学）

はじめに

郡山市健康振興財団健康センターは、労働安全衛生法に基づく労働者の定期健康診断を、年間約8,000人を対象に実施している。健康診断の効率化と充実した保健サービスを提供するために、当財団は、東海大学医学部医学情報学教室の大櫛陽一教授の指導のもと『事業所健診情報システム』を開発し、健診結果をデータベース化し、蓄積して、さまざまに活用している。（表1）

表1

郡山市健康情報システム グランドメニュー

1	個人基本情報	(登録・照会・修正・削除)
2	個人コード	(照会・マスター状況、日付ごと)
3	健康診断結果	(登録・照会・修正)
4	検査結果取込	(フロッピーから)
5	各種検査結果	(登録・照会・修正・精検結果)
6	各種事業実施状況	(登録・照会)
7	各種事業実施状況	(照会・削除)
8	データ転送	(ホスト・ノート間)
9	保健指導画面	(データ、時系列グラフ、レーダーチャート)
10	レポート	(登録・修正)
11	個人情報	(印字)
12	個人情報	(関連データ一括移動)
13	統計処理	(クロス集計、基本統計量、条件検索)

目的

当健康センターでは、健診情報システム構築により健診結果の経年的な時系列グラフ表示や2年分の結果を比較したレーダーチャート表示が可能であった。

この度、生活習慣が健診の結果にどのように影響しているのかを知るため B r e s l o w の7つの項目の中で何が問診項目として必要なのかの検討を行い、ライフスタイルのシステム化を行った（表2）。1画面で健診データとライフスタイルを比較検討することが出来ることによって（表3）健診受診者とともに生活習慣を見直し、生活習慣病を予防し健康的な生活を送ることができるよう、より効果的な保健指導を行うことを目的として、ライフスタイル問診項目の検討及び入力画面の作成を行った。

表2

ライフスタイル入力画面

表3

時系列グラフ

2000.11.10

事業所全体規模：30人 事業所健康診断実施人数：30人

職業：専門的・技術的職業

生活活動強度：II(中程度)

飲酒頻度：5回/週

飲酒種類：1:ビール (3.6) 飲酒量：633ml/回 アルコール摂取量 [113.5]g/週

喫煙現在：平均本数：20本/日 喫煙道算年数：14年

通勤手段：1:自動車 消費エネルギー1 (0) 20分/日

朝食：あり 間食頻度：0回/日

入眠時刻：23時00分 睡眠時間：5時間00分

排便頻度：8回/週 ストレス：3日/週

通勤時間：20時間/週 夜勤日数：0日/月

消費エネルギー2 (0) 消費エネルギー2 (0) Cal/週 (5日) 外食頻度：3回/週

身長：170cm 体重：66kg

